

ユニーで発生するゴミ

ユニーでは2003年度から順次店舗に廃棄物計量器を設置し、店舗から排出される全ての廃棄物を排出場所ごとに分別計量しています。排出場所(売り場、専門店、その他)ごとに管理することで排出責任を明確にし、廃棄物の発生要因を追求し発生抑制に努めています。排出された廃棄物は分別を徹底することで再生資源としての価値が上がり、リサイクルが進みます。

2014年度の廃棄物排出量は2013年度対比98.5%で1.5%削減しました。廃棄物の約半分を占める段ボールを、折り畳み式コンテナ(オリコン)や荷造り用わく箱(フレート)を使用することによって削減しました。また、今まで発泡スチロールで納品されていた商品もクレートを使用することで発泡スチロールも削減されました。食品ゴミでは店舗の惣菜売り場の揚げ物をヘルシーな蒸し物にした結果、廃食用油が削減され、ビニール(衣住系)は納品時の不要な梱包を減らすことによってお店から発生するゴミを削減し、全体として1.5%廃棄物を削減しました。

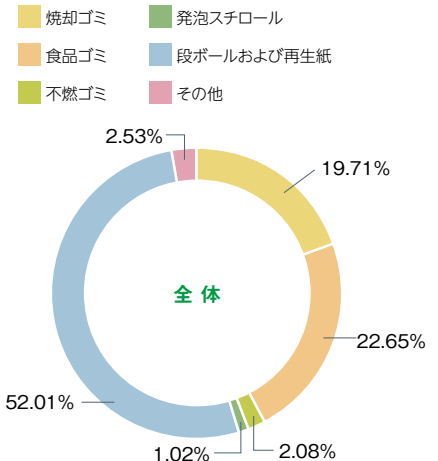
今後は廃棄商品に伴う生ゴミや、容器包装を削減するだけでなく、容器包装自体を簡素化したり軽量化することによって廃棄物の量をお店だけでなく、家庭からも減らしていきたいと思います。廃棄物の発生抑制と削減、分別の意識がユニーの直営従業員だけでなく、専門店様の意識も向上してきました。今一度従業員教育を行い、廃棄物の発生抑制と削減、正しい分別によって再生資源としてリサイクルを進めていきます。

廃棄物排出量

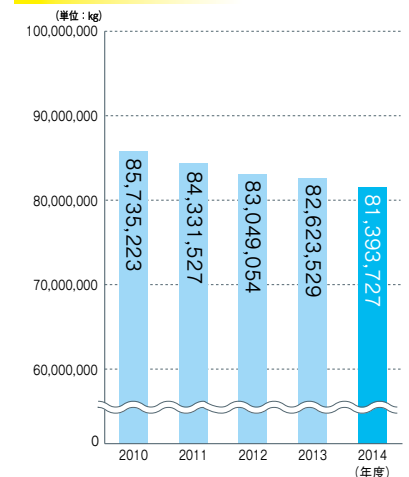
(単位:kg)

区 分	種 類	2012年度	2013年度	2014年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ				
	一般可燃ゴミ	12,164,854	11,994,522	11,990,222	100.0%
	ビニール(食品系)	4,297,839	4,177,479	4,053,758	97.0%
	小計	16,462,693	16,172,001	16,043,980	99.2%
	食品ゴミ				
	生ゴミ	14,200,425	14,035,060	13,981,999	99.6%
	魚のアラ	2,520,947	2,322,053	2,236,762	96.3%
	てんかす	974,337	964,936	964,119	99.9%
不燃ゴミ	廃食用油	1,393,662	1,327,618	1,249,435	94.1%
	小計	19,089,371	18,649,667	18,432,315	98.8%
	ビン	1,058,184	1,129,825	1,223,503	108.3%
	缶	491,763	482,476	470,864	97.6%
小計		1,549,947	1,612,301	1,694,367	105.1%
発泡スチロール		958,302	903,002	829,406	91.8%
段ボール および 再生紙	段ボール	40,409,890	40,681,559	39,826,230	97.9%
	紙類(再生可)	2,417,343	2,472,695	2,507,907	101.4%
	小計	43,785,535	44,057,256	42,334,137	98.1%
その他	プラスチック	458,480	440,255	439,724	99.9%
	ビニール(衣住系)	958,694	951,686	888,302	93.3%
	ペットボトル	383,655	380,054	378,632	99.6%
	陶器・ガラス	121,530	114,404	107,877	94.3%
	金属カス	137,468	133,654	138,154	103.4%
	その他	101,681	112,251	106,833	95.2%
	小計	2,161,508	2,132,304	2,059,522	96.6%
合 計		83,049,054	82,623,529	81,393,727	98.5%

廃棄物構成比率



廃棄物総排出量の推移



廃棄物計量システム



売り場では廃棄物を種類ごとに別々の容器に分けて入れます。混ぜてしまうとリサイクルできないので、容器に入れる時にきちんと分別します。



廃棄物は排出場所・分別ごとにバーコードで管理し、計量器に載せ、重量を計ります。



シールを発行します。同時にデータは事務所の端末に記録、集計され、本社の端末に送信されます。テナントや売場には毎月集計された結果が告知されます。



計量した廃棄物は、それぞれ温度管理された廃棄物庫で保管されます。腐敗しやすい食品廃棄物などは冷蔵保管されます。